

令和元年度 第10回石岡市ふるさと再生会議 会議録

1 会議の名称

令和元年度 第10回石岡市ふるさと再生会議

2 開催日時

令和元年7月30日（火）午後2時から午後4時まで

3 開催場所

石岡市役所 本庁舎2階 201会議室

4 出席者

15人

5 会議録（要旨）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

1）地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

【会長】

事務局より資料1の説明をお願いします。

【事務局】

資料1説明

【会長】

ご意見、ご質問あればをお願いします。

【委員（質疑・意見）】

○第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業

・移住者数の31名というのは評価したい。

○水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト

・サイクルラック作成・配置で、間伐材を使用して、地域おこし協力隊と協同で作成したのは良かった。

個人的に森の整備に興味があるが、もっとアピール、SNS やネット上で発信の方が良かったのでは。

また、間伐材を使用した背景・ストーリーをもたせていくと良い。その方が森の整備に興味を持ってもらえる。

- ・サイクルラックだとわかりにくいので、看板等表示をした方がよい。

【会長】

ストーリーを持たせるというのは経営などでも求められている。
ストーリーを持ってワークショップ，参画できるような取組をしたほうが良い。

○第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業

- ・移住者数の定義は
→（事務局）市の施策を利用して移住につながった数。地域おこし協力隊や市や県の制度を利用した新規就農者など。

【会長】

ラッピングバスについて現在のデザインでは何を訴えたいかがないので、公募をして選定委員会を開いて決定するなどした方が良い。
また石岡のおまつりと SNS とかポケモンなどの仕掛けを使って客数を増やしてはどうか。
・事業の自立・継続について，例えばイルミネーションは市民をまじえた事業にしてみてもどうか。

○水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト

- ・りんりんタウン構想だが，スピードが出る自転車に乗る場合，事故があると大変。保険の加入なども義務付けないといけないのでは。
→（事務局）広域のレンタサイクルについては，保険加入済み。
個人について県では保険加入を条例化している。市でも今年度はハンドブックの作成などにより幼児・小中学生への交通安全啓発を進めていく。今後も保険加入や交通安全の啓発など十分行っていく。

○第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業

- ・イルミネーションの期間延長などしてはどうか。

【会長】

ストーリー・付加価値をつけたイルミネーションにすると良い。

- ・イルミネーションだけでなく，周遊できるような別の観光と組合せて石岡に滞在してもらい，お金を落とすとしていってもらえるようにした方が良い。
- ・宿泊施設が少ないのが市の弱みではないか。宿泊してもらおうともしっかり石岡の良さを満喫してもらえ。例えば，夜が暗く，星がきれいに見えるのと，星座のイルミネーションを組み合わせるなど，石岡でしか見れな

いイルミネーションにすると良い。

【会長】

地域おこし協力隊に企画実践してもらって、滞在型周遊型のコンテンツを作ってトライアルとして実施してはどうか。

【会長】

資料1についてはご意見をいただいたとおりで、評価は決定したい。

2) まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略の進捗について

【会長】

事務局より資料2の説明をお願いします。

【事務局】

資料2説明

【会長】

ご意見、ご質問あればお願いします。

【委員（質疑・意見）】

○（基本目標1）市の強みを活かした安定した雇用の創出

- ・企業誘致推進について、誘致場所をもくろんでいる場所はあるのか。
→（事務局）柏原工業団地は空きがない。他の地域で交付金等を使って造成できるか検討している。また市内まちなかの空き店舗を活用し、誘致できないか等を検討している。
- ・以前は企業誘致というと工業団地造成で雇用創出も期待できたが、工業用水の問題、作業がロボットでオートメーション化されており、難しくなっている。

【会長】

管内の雇用状況を教えてほしい。

→・求職者は減。会社等からの求人は増。雇用状況は改善している。

- ・新規就農者の生産品目や年齢等内訳を教えてほしい
→（事務局）生産品目・年齢等内訳は後ほど資料を示す。
市に移住している方もいるし、市外に住んで通いの方もいる。
- ・企業誘致の企業の定義は。
→（事務局）工場などの誘致だけでなく、サテライトオフィス・テレワーク等も検討している。
- ・ウイスキー蒸留所の現況はどうなっているか。
→（事務局）民間企業の話にはなるが、小幡で施設を改修している。10月オープン予定。

【会長】

取り組みを企業誘致「等」にするといいのでは。国は雇用創出のために「企業」としているが、事業所でも良いし表現を変えてもいいのではないか。また、「誘致」というのも地方創生で「関係人口」というのを謳っており、移住等につながる前の仕掛け、人の流れのことを強調している。幅広く捉えた方が良い。

ロケの誘致で茨城県は1位になっている。経済効果はかなりある。

また、「ブランド化」については、民間企業でも難しい。

「ブランド化」の前段階で食品の「機能性表示」があるので、検討してはどうか。

- ・地元産品に駒村清明堂のお線香があるので、食品に限らず生かしてはどうか

【会長】

「ブランド化」の第一段階は食品で、そのサイクルが終わったら地場産品など次の品目で取り組むと良いのでは。

○（基本目標2）市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

- ・ゆりの郷は食事だけではできないのか。
→平日の昼は入館料なしで食事のみができるが、土日の昼は食事のみはできない。
- ・通勤通学費用助成について、人数や助成額等教えてほしい。
1千万の予算で転出抑制につながった人数が38人では費用対効果としてどうなのか。
→（事務局）正確な数字は確認してお伝えする。

【会長】

人口が減らないことで地方交付税の額が維持できる。また住民税、固定資産税など税収も期待できる。そういう面もあるので、トータルで政策を見た方が良い。

- ・スポーツツーリズムの構築は具体的にどういうことを指しているのか
→（事務局）筑波山地域ジオパークを生かしたジオツアー（ハイキング）に取り組んでいる。

【会長】

スポールサイクルなども数字が拾えれば実績になるのでは。

○（基本目標3）若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

【会長】

国が年金等維持できる合計特殊出生率は、1.8と設定している。実

際は1.4で、0.4赤字になっている。フランスは2.0を超えている。

市では、先ほどの説明で出生数は横ばいとのこと。死亡者が多いので、自然減で人口が減る。また、人口減は、転出で減ってしまう社会減もある。

- ・20年前は幼稚園で一人っ子が多かったが、現在は4～5人の多子が増えている。裕福な家庭で多子が増えていると感じる。

【会長】

データで一人っ子、多子化を捉えられると良い。多子は社会的サポートがないと母親の負担が増えてしまう。市としても多子世帯でどのようなサポートが必要か検討すると良い。

- ・産科院が市になくなってしまった。近隣の笠間市やつくば市の産院に行かないと産めない。

→(事務局)広域で連携して取り組んでいる。昨年度市民医療懇談会を開催して、産科・小児科・緊急診療などの医師の確保が課題であり、その受け皿となる中核病院が必要と提言を受けている。今年度は更に検討を進めるため、地域医療対策検討委員会を立ち上げ、計画立案をしていく。

【会長】

市として医療圏を踏まえて選択・集中しないと難しい。

- ・地域遊び場充実事業について。

→(事務局)市内の公園のマップを作成したり、遊具の整備をした。今後、検討していきたい。

- ・茂木町では廃校になった学校を使ってプレパークとして夏休み期間に遊びの「場」づくりをしている。既存の場所を使って遊ぶ場づくりを進めてほしい。

【会長】

既存の施設を使ったり、八郷の自然を生かしたネイチャーフィールドパークとして公園とするなど市として調査検討して行ってほしい。

- (基本目標4)時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る

- ・地域の拠点づくりについて城南中学校が廃校になった。今後小学校も合併していく方向と聞いている。高浜駅から近く、サイクルステ

ーションのいづみ荘もある。防災の避難所ともなっているし、城南中学校をどうしていくか考えてほしい。

【会長】

市として利活用を考えていくように。

3) 人口ビジョンの見直しと次期総合戦略の策定について

【会長】

事務局より資料3の説明をお願いします。

【事務局】

資料3説明

【会長】

特にアンケートの項目、内容などご意見を。後ほどあれば、今週木曜日午前中までにご意見を事務局へ。

- ・アンケートから離れるかもしれないが、「起業」を学ぶ機会は今あるのか。
- ・商工会議所で市の補助金と絡めて創業塾を実施している。
- ・行政の問題でなく、高校側の考えもある。

【会長】

自治体と高校と協定を結ぶ、または県教育委員会と協定を結ぶなどして、高校生が自治体や地域と繋がりをもって、座学ではなく職業の生の体験などができると良い。

【会長】

本日は活発な意見が出たので、とりまとめて市として検討して行ってほしい。

(4) 閉会

以上